

IBM Watson Analytics

ご利用条件 (以下「ToU」といいます。) は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オファリング条件」 (以下「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」 (以下「一般条件」といいます。) で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/slabd.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オファリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オファリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オファリングのご契約条件」のうち該当する契約条件 (以下「本契約」といいます。) が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングに、これらの「SaaS 特定オファリング条件」が適用されます。

- IBM Watson Analytics Plus
- IBM Watson Analytics Professional
- IBM Watson Analytics Professional Dedicated

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「許可ユーザー」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる手段であっても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを経由して)、何らかの方法により「IBM SaaS」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」ごとに、個別に専用の使用許諾を取得しなければならないものとします。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」へのアクセス権限が付与される「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「ギガバイト」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「ギガバイト」とは、2 の 30 乗バイトのデータとして定義されます (1,073,741,824 バイト)。「IBM SaaS」にロードされたデータ・セットの圧縮されていないサイズを測定するのに「ギガバイト」が使用されます。課金期間中の任意の時点で「IBM SaaS」によってホストされる「ギガバイト」の数をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 セットアップ料金

セットアップ料金は、「取引文書」に明記されます。

3.2 1 か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された 1 か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるのか、継続使用ベースで続行されるのか、期間満了時に終了するのかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続使用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

5. テクニカル・サポート

「サブスクリプション期間」中に「IBM SaaS」に対して提供されるテクニカル・サポートは、<http://www.ibm.com/software/support/handbook.html>に掲載されている「IBM Software as a Service Support Handbook」または IBM が提供する後継の URL に定めます。「テクニカル・サポート」は「IBM SaaS」に含まれ、個別のオファリングとして提供されるものではありません。

6. 「IBM SaaS」オファリングの追加条件

6.1 Cookie

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様（お客様の従業員および従契約者）から情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報をもとに、収集した個人情報を以上の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

6.2 個人情報および規制コンテンツ

本「IBM SaaS」は、個人情報またはセンシティブ情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に即して設計されていません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。

6.3 コグニティブ・アナリティクスを目的とした、IBM によるお客様コンテンツの利用

IBM は、「IBM SaaS」に対する改善や拡張の IBM 社内における研究、テスト、および開発、またはよりカスタマイズされた有意義な経験をユーザーに提供する新サービスの開発を目的として、お客様が「IBM SaaS」に提供するコンテンツおよびデータを利用することができます。この実施の際に、IBM は、お客様の許可ユーザーによる「IBM SaaS」の利用を反映する、集計された匿名形式の要約情報を集約して分析し、報告書、研究論文、分析、ならびに前記の集約および分析の結果によるその他の研究物（以下、総称して「集約データ」といいます。）を作成する場合があります。IBM は、「集約データ」に対する権利を保持するものとします。

6.4 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する場所の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

6.5 コンテンツの破棄

IBM は、「IBM SaaS」の契約期間の満了時もしくは解約時、またはそれ以前のお客様からの要求に従い、お客様のデータまたはコンテンツを破棄します。

6.6 セーフハーバー

IBM は、EU（欧州連合）からの情報の収集、使用および保管に関して、米国商務省が規定する「米国 - EU 間のセーフハーバー・フレームワーク」に従うものとします。「セーフハーバー」の詳細および IBM の認証宣言は、<http://www.export.gov/safeharbor/> でご覧いただけます。

7. Watson Analytics における Twitter コンテンツ

7.1 定義

- a. 「分析レポート」 – 「Twitter コンテンツ」からの情報を分析して派生させるプロセスから、「IBM SaaS」にてお客様のアプリケーションで作成される結果または出力をいいます。かかる結果には「Twitter コンテンツ」を含むことはできませんが、検索語や「ツイート」の主題に関する言及など、「Twitter コンテンツ」内のものに複製できるコンテンツを含むことができます。
- b. 「ツイート ID」 – 各「ツイート」に対して生成された一意の識別番号をいいます。
- c. 「ツイート」 – Twitter サービスのエンド・ユーザーが行う、140 文字以内のテキスト本文での公開投稿をいいます。
- d. 「Twitter コンテンツ」 – 「ツイート」、「ツイート ID」、公開されている Twitter のエンド・ユーザー・プロフィール情報、ならびにお客様に提供される Twitter 関連のその他のデータおよび情報をいいます。

7.2 Twitter コンテンツの利用

お客様は生の「Twitter コンテンツ」にアクセスできないものとします。「IBM SaaS」は、お客様が、「Twitter コンテンツ」の分析を実行して、「分析レポート」を作成するためだけに「Twitter コンテンツ」を選択し、「IBM SaaS」内でのみ「Twitter コンテンツ」を利用する手段を提供します。

「Twitter コンテンツ」は、IBM が所有または管理するものではありません。「Twitter コンテンツ」には、違法な素材、不正確な素材、誤解を招く素材、わいせつな素材、またはその他好ましくない素材が含まれることがあります。IBM または IBM サプライヤーは、「Twitter コンテンツ」についてレビュー、フィードバック、確認、編集または削除を行う義務を一切負うものではありません。ただし、IBM または IBM サプライヤーは、その裁量でこれを行うことができます。お客様は、IBM から提供された機能を利用して、「IBM SaaS」に保存することができる「Twitter コンテンツ」を迅速に削除または変更しなければなりません。お客様は、「IBM SaaS」から「分析レポート」をダウンロードしたり、削除したりする権利を有するものとします。

7.3 Twitter データの量

Plus のお客様には以下の制限があります。

- データ・セットあたり 25,000 件の「ツイート」

Professional のお客様には以下の制限があります。

- データ・セットあたり 50,000 件の「ツイート」

7.4 Twitter コンテンツに関する制限

お客様は以下を行わないものとします。

- a. プライバシーに関する法律を含め適用されるあらゆる法令に違反する「Twitter コンテンツ」の利用または不正なもしくは不適切な目的での「Twitter コンテンツ」の利用。
- b. 「IBM SaaS」の一部として提供された「Twitter コンテンツ」を利用して、違法または差別的な目的のために少人数のグループや個人について分析を実行すること。
- c. 広告ネットワークの一部に含まれる分析を実施するために「IBM SaaS」の一部として提供された「Twitter コンテンツ」を活用すること。
- d. 分析するために「Twitter コンテンツ」を活用すること。この場合の分析とは、テレビ番組のパフォーマンスを経時的に比較するため、またはその他のテレビ番組の所定のセットもしくはサブセットに照らして比較するためのものと同様または類似の方法を用いて行われる、定期的に提示される時間ベースの一連の測定を実行するものをいいます。
- e. 何らかの目的のために「IBM SaaS」の一部として「Twitter コンテンツ」にアクセスしてそれを利用すると同時に、取得した Twitter ユーザー・メトリック (ユーザーまたはアカウントの数) の総計を使用すること。
- f. 「IBM SaaS」で認められている限定目的以外の目的で「Twitter コンテンツ」を利用すること。

7.5 IBM による終了

お客様による「Twitter コンテンツ」の利用は、「IBM SaaS」の終了と同時に中止されるものとします。

上述にかかわらず、本契約に規定される中断および終了に関する権利に加え、IBM は通知することなく、またお客様に返金、クレジット、その他の補償をする義務はなく、いつでも「Twitter コンテンツ」へのアクセスの提供を終了することができます。

7.6 Twitter コンテンツの保証および補償に関する免責事項

本契約に規定されている保証にかかわらず、「Twitter コンテンツ」はすべての誤りを含む「現状」のまま、かつ、何らの保証も伴わず提供され、お客様は自己責任において「Twitter コンテンツ」を利用するものとします。IBM は、その他一切の明示または黙示の保証を行わず、本書によりいかなる責任も負わないものとします。ここでいう保証には、商品性の保証、品質保証、性能保証、特定目的適合性の保証、法律上の瑕疵担保、権原にかかわるあらゆる黙示の保証、および「Twitter コンテンツ」の取引上、利用上、もしくは商慣習上の、または「Twitter コンテンツ」に関連するあらゆる保証が含まれます。IBM は、「Twitter コンテンツ」へのアクセスについて、中断されないことや誤りがないことを保証するものではありません。この保証に関する免責事項は、一部の国の法律では無効な場合があり、お客様には本免責事項により制限されない法律上の権利が保証されます。かかる保証は、(かかる法律によりその他の規定がある場合を除き) 本契約の発効日から 30 日間のみ適用されます。本契約に規定される、IBM のお客様に対する補償責任は、「Twitter コンテンツ」のお客様によるアクセスおよび利用に対しては一切適用されません。

7.7 米国政府による使用

アメリカ合衆国のみ適用: 「Twitter コンテンツ」は、48 C.F.R. の 2.101 に定義される「商品 (commercial Items)」となります。この「商品」は、48 C.F.R. の 12.212 で使用される用語でいうところの「商用コンピューター・ソフトウェア (Commercial Computer Software)」および「商用コンピューター・ソフトウェア文書 (Commercial Computer Software Documentation)」で構成されます。「Twitter コンテンツ」の政府機関による使用、変更、派生、複製、リリース、パフォーマンス、表示、開示または配布は、本契約で明示的に許可されている場合を除き、すべて禁止されています。さらに、米国政府機関による使用は、48 C.F.R. の 12.212 および 48 C.F.R. の 227.7202-1 から 227.7202-4 までを遵守する必要があります。お客様が、米国の州政府または地方自治体の機関の従業員または代理としてのお客様の公的な立場で「Twitter コンテンツ」を使用する場合で、お客様が本書の裁判管轄、裁判地、またはその他の条項を受諾することができない場合には、かかる条項は当該機関には適用されません。ただし、適用法で要求される範囲に限るものとします。契約者/製造者は Twitter, Inc. (1355 Market Street, Suite 900, San Francisco, California 94103) です。

別紙 A

1. IBM Watson Analytics

IBM Watson Analytics は、クラウドでの統一されたアナリティクス・エクスペリエンスを提供し、ユーザーが、それぞれのビジネスに影響を及ぼす要因に専念できるように支援します。データ・アクセスおよび予測分析の手順を自動化することにより、「IBM SaaS」は隠れたパターンと関係を特定および説明し、その状況に至った理由について理解を深めます。

「IBM SaaS」オファリングには、以下の機能が含まれます。

- ユーザー・エクスペリエンスへの関与 – ユーザーがデータを理解したり、データと対話したりできる形式でのデータや洞察の提示。
- データ・ディスカバリー – 視覚的にデータを探り、データと対話してパターンを発見し、洞察を導き出します。
- ガイド付き分析ディスカバリー – 統計上の相関とキー・ドライバー・アナリシスを自動的に実行する組み込みの予測分析。
- 自然言語ダイアログ – 一般的ビジネス用語を使用したキーワード方式の英語インターフェースによるデータとの対話。
- データ・アクセス – お客様の分析用のデータに自動的にアクセスした後、そのデータの準備態勢を独自にスコア付けします。その際、結果を損なう可能性のあるデータの問題に焦点を当てます。

1.1 IBM Watson Analytics Plus

Watson Analytics Plus は、以下の機能が組み込まれた単一ユーザー環境です。

- 1,000,000 行以下および 256 列以下の .xls、.xlsx または .csv のファイルをロードします。
- 2 GB の合計ストレージ。データ・ストレージには、クラウド環境へロード済みのソース・ファイルおよびアプリケーション内で作成済みのコンテンツが含まれます。
- PPT ファイル形式でエクスポートします。
- ストーリーテリング

ストーリーテリングは Watson Analytics で提供される機能のセットであり、ユーザーはこれらの機能を使用することにより、Watson Analytics で作成された各種分析を 1 つの物語に仕上げることができます。1 つのストーリーの中で、ユーザーは既存のコンテンツを使用するか、または新規コンテンツを直接構築して、テキスト、イメージ、Web ページ、メディア、アニメーションと連携させて内容の濃い対話式プレゼンテーションを作成することができます。この機能は現在、「ベータ機能」として提供されています。

- インフォグラフィック
- テンプレート
- 「Twitter コンテンツ」
- DropBox、Box、および Microsoft OneDrive への接続

1.2 IBM Watson Analytics Professional

Watson Analytics Professional は、IBM Watson Analytics Plus の機能のすべてと以下の追加フィーチャーおよび拡張機能が組み込まれたマルチユーザー環境です。

- 10,000,000 行以下および 500 列以下の .xls、xlsx または csv のファイルをロードします。
- シングル・テナント (ただし、データ・ストレージには、クラウド環境へロード済みのソース・ファイルおよびアプリケーション内で作成済みのコンテンツが含まれます。)
- Twitter コンテンツの拡張
- Cognos 10 Reports への接続

1.3 IBM Watson Analytics Professional Dedicated

Watson Analytics Dedicated は、IBM Watson Analytics Professional の機能のすべてと以下の追加フィーチャーおよび拡張機能が組み込まれたマルチユーザー・クラウド環境です。

- データ・ストレージ付きのシングル・テナント (ただし、データ・ストレージには、クラウド環境へロード済みのソース・ファイルおよびアプリケーション内で作成済みのコンテンツが含まれます。)
- 専用環境

1.4 オプションのアドオン

1.4.1 IBM Watson Analytics Plus Storage Add-on

IBM Watson Analytics Plus の月額サブスクリプションに対するアドオンとして提供されます。この「IBM SaaS」のサブスクリプション使用許諾ごとに、ユーザーが作成したコンテンツに対して 10 GB の追加ストレージが提供され、契約済みの層で規定される最大値を超えます。

1.4.2 IBM Watson Analytics Multiple User Storage Add-on

IBM Watson Analytics Professional および Professional Dedicated の月額サブスクリプションに対するアドオンとして提供されます。この「IBM SaaS」のサブスクリプション使用許諾ごとに、ユーザーが作成したコンテンツに対して 50 GB の追加ストレージが提供され、契約済みの層で規定される最大値を超えます。

1.5 災害復旧およびバックアップ

すべての「IBM SaaS」オフリングでは、災害復旧計画およびコンテンツ・バックアップ・サポートをお客様に提供します。

1.5.1 災害復旧

天災、テロリズム、労働争議、火災、洪水、地震、暴動、戦争、政府による法令、命令もしくは制限、ウィルス、サービス妨害攻撃およびその他の悪意ある行為、ユーティリティおよびネットワーク接続の不具合、またはその他の「IBM SaaS」を利用できない状態を引き起こす原因のうち IBM の合理的な制御が及ばないものの結果として、壊滅的な事象が生じた場合、IBM は、14 日以内に「お客様」の「IBM SaaS」へのアクセスを復旧します。

1.5.2 コンテンツのバックアップ

「コンテンツ」のバックアップを毎日取り、オフサイトにコピーして、壊滅的な事象から「コンテンツ」を保護します。7 日毎に、完全なデータベース・バックアップを取り、その後は毎日、比較して異なる差分バックアップのみを行います。IBM は、最新の 7 日間の日次差分バックアップおよび最新の 28 日間の完全バックアップを保持します。バックアップは、保存の際にディスク・ベースのバックアップ・システムに、またオフサイトへの伝送中に暗号化するものとします。

2. Watson Analytics におけるベータ機能

「IBM SaaS」で提供される「ベータ機能」は「IBM SaaS」の一部ではありません。「ベータ機能」は、以下に規定されている場合を除き、「IBM SaaS」と同じ条件が適用されます。「ベータ機能」の一部または全部は、IBM によって、製品もしくはオフリングとして、または製品もしくはオフリングに組み込まれて一般出荷可能になっていない場合があります。お客様は、実稼働環境で使用する目的ではなく、内部評価を行う目的にのみ、「ベータ機能」を使用することができます。お客様は、IBM が「ベータ機能」を廃止するか、または「ベータ機能」へのアクセスを終了するまで「ベータ機能」を使用することができます。IBM は、サポート義務を負わず、現状のまま「ベータ機能」を提供し、権原保証責任、権利の不侵害あるいは不干渉に関する保証責任および商品性、特定目的適合性に関する黙示的保証または条件を含む、明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとします。

お客様は、「ベータ機能」を使用できなくなった場合に起こりうるデータの損失を回避するため、予防措置を講じなければなりません。

お客様は、提供されたすべてのフィードバックおよび提案を IBM が使用できることに同意します。

別紙 B

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「IBM SaaS」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

1. 可用性クレジット

お客様は、「IBM SaaS」の可用性に影響を及ぼした事象について最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録しなければなりません。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM に合理的な支援を行わなければなりません。

「SLA」を達成することができない場合のサポート・チケットの請求は、契約月の末日から 4 営業日以内に提出しなければなりません。有効な「SLA」の請求に対する補償は、「IBM SaaS」の実稼働システム処理が利用できない時間 (以下「ダウンタイム」といいます。) に基づいた「IBM SaaS」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「IBM SaaS」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティー問題もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「IBM SaaS」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「IBM SaaS」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

2. サービス・レベル

「契約月」における「IBM SaaS」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (「請求」の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」* の割合)
99.0 – 99.75 %	2%
95.0 – 98.99 %	5%
95.0% 未満	10%

* 「IBM SaaS」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、「請求」の対象である「契約月」に対して有効な「IBM SaaS」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

例: 「契約月」における「ダウンタイム」が合計 500 分である場合

30 日の「契約月」における合計 43,200 分 - 予定外の「ダウンタイム」500 分 = 42,700 分 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 合計 43,200 分	= 「契約月」における 98.8% の可用性につき 5% の 「可用性クレジット」
---	--